



分科会

資 料

三遠南信自動車道の整備状況と効果

平成24年10月2日

国土交通省浜松河川国道事務所
所長 天野 邦彦

新東名高速道路・三遠南信自動車道の開通



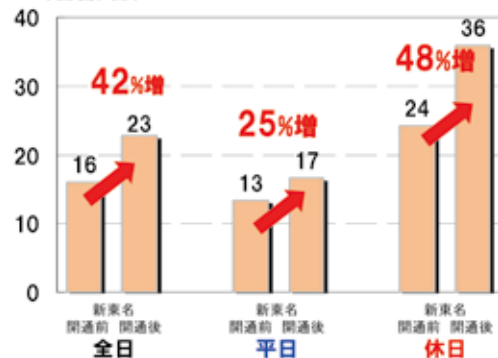
- ・三遠南信自動車道の交通量は、
全日**23**百台/日、平日**17**百台/日、休日**36**百台/日

■位置図



■三遠南信自動車道の交通量

(百台/日)



出典：国土交通省データ
開通前：平成24年3月5日（月）～4月13日（金）
開通後：平成24年4月15日（日）～7月13日（土）

2

鳳来峡IC～浜松いなさJCT開通後の整備効果

観光(南信州)

南信地域の観光交流の広域化をバックアップ

- 新東名開通直後、道の駅信州新野千石平の来訪者が約2.6倍に。
- 浜松・静岡方面からの利用者が約4割を占め、その約7割が三遠南信自動車道を利用。
- 今回の開通が南信地域の観光客の広域化に寄与。



■来訪者の居住地



■道の駅「信州新野千石平」入込客数の推移



出典：道の駅運営者ヒアリング結果

■三遠南信(鳳来峡～浜松いなさ北間)利用率



観光交流施設
運営者の声
(信州新野千石平)

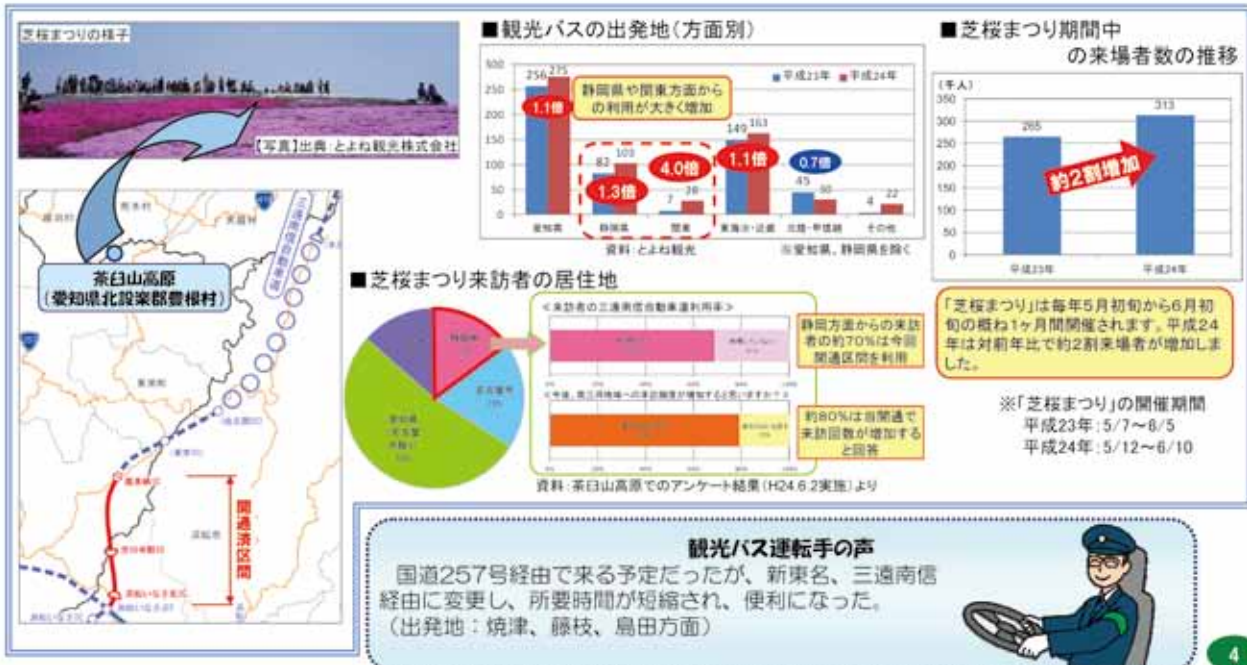
新東名とつながったことで、浜松だけでなく静岡ナンバーの自動車も増加しています。当方からも静岡市内のスーパーにて地域の特産品の紹介・販売を行っており、三遠南信自動車道、新東名の開通により、静岡市までの移動時間が1時間程度短縮したため、大変便利になりました。



3

観光活性化に向けた地元の取り組みを支援

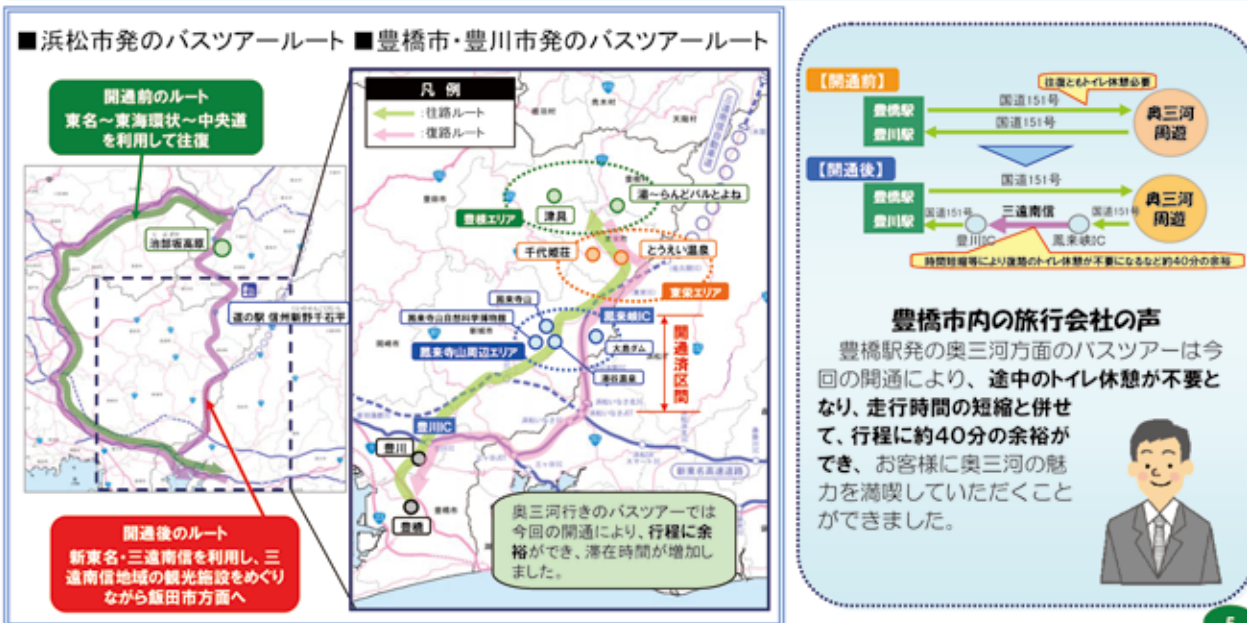
- 近年、地元では芝桜まつり(豊根村)といったイベントが開催されるなど、観光交流の活性化に取り組まれています。
- 今回の開通で静岡方面からの観光バスが大幅に増加するなど地元の観光活性化を支援。



4

奥三河における観光の質的向上に貢献

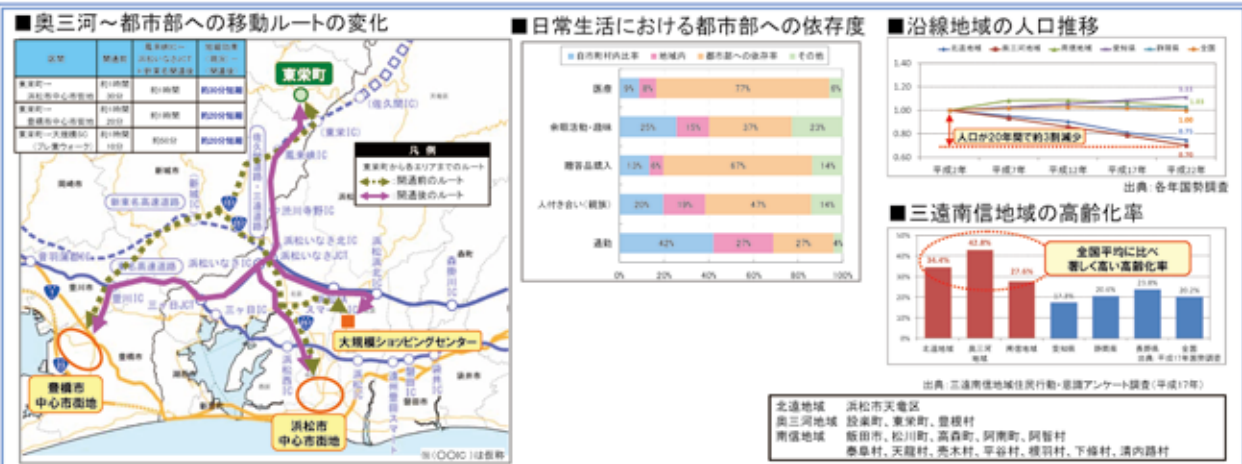
- 浜松市の旅行会社は奥三河・南信地域を周遊するバスツアーを新たに企画・販売しており、観光周遊性の向上に貢献。
- 豊橋市の旅行会社によって、今回の開通区間を利用した奥三河行きのバスツアーが催され、滞在時間の増加や余裕のある行程が可能となり、観光の質的向上に貢献。



5

暮らしやすさの向上に寄与

- 北遠・奥三河地域の人口減少・高齢化の進行は深刻で、地域の活性化を進めるためには生活利便の向上が必要。
- 住民は、買い物等において、浜松市等都市部に依存。
- 今回の開通による浜松市への時間短縮は住民の生活利便の向上に大きく寄与。



Uターン者(東栄町在住)の声

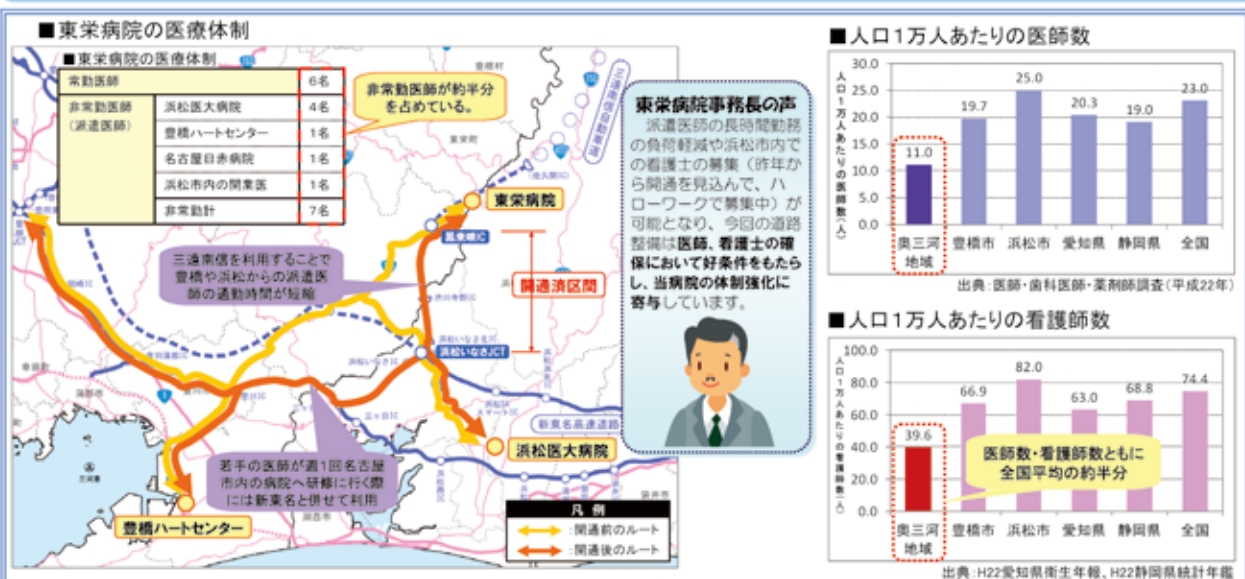
都市部と比較して、生活の不便さは否めません。買い物するのにも地元では品揃えが悪く(衣服等は高齢者向けが多く、食料品は新鮮なものが少ない)、医療も専門科目は限定されていること等から、浜松市や豊橋市にまで時間をかけていくことがしばしばあります。今回の開通により、約20分の時間短縮が可能となり、生活の利便さが向上しました。



6

地域医療の強化充実に寄与

- 東栄病院は奥三河地域の重要な医療機関ですが、専門外来は都市部の大病院等から派遣されている非常勤医師で対応。
- 医師だけでなく、看護師も不足傾向。
- 今回の開通による移動時間の短縮で看護師の確保や派遣医師の長時間通勤の負担を軽減し、地域医療の強化・充実に寄与。



円滑な救急救命活動に寄与

- 奥三河地域の医療サービスは十分とは言えず、重篤の救急患者等は都市部の大病院に依存。
- 今回の開通区間は、都市部の大病院への搬送時間の短縮や、搬送患者への負担軽減等、円滑な救急救命活動に寄与。

■三遠南信自動車道・新東名高速道路を活用した救急救命活動

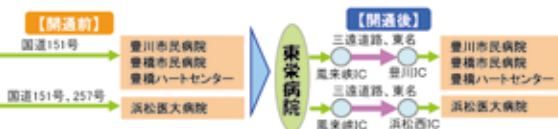


■東栄病院から三遠南信・新東名を利用した転院搬送実績

搬送先	搬送件数	所要時間		
		一般道利用	高速利用	短縮効果
豊川市民病院	7件	約57分	約48分	約9分
豊橋市民病院	6件	約62分	約55分	約7分
豊橋ハートセンター※	5件	約68分	約61分	約7分
浜松医大病院※	1件	約70分	約53分	約17分

期間：H24.3.4～H24.7.1 出典：新城市消防本部ヒアリング結果より

※ 豊橋ハートセンターまでの所要時間は豊橋市民病院までの実績値をベースに民間プローブデータより算出。浜松医大病院は民間プローブデータから算出。



新城市消防本部の声

- 今春の開通以降、東栄病院から豊川市民病院や豊橋市民病院への搬送では、状況に応じて三遠南信・新東名を利用しています。
- 開通前に比べて所要時間が約10分短縮したとともに、走行性が向上し患者さんや運転手の運転時の負担軽減にもなっています。



8

地域の企業を支援

- 東栄町には「愛知ブランド」※に認定された企業が立地。
- 今回の開通による道路サービス（速達性、定時性等）の向上は企業活動の円滑化・効率化に大きく寄与。

※優れた理念、トップのリーダーシップのもと、業務プロセスの革新を進め、独自の強みを発揮し、環境に配慮しつつ、顧客起点のブランド価値等の構築による顧客価値を形成している製造企業のこと。

T社（東栄工場）工場長の声

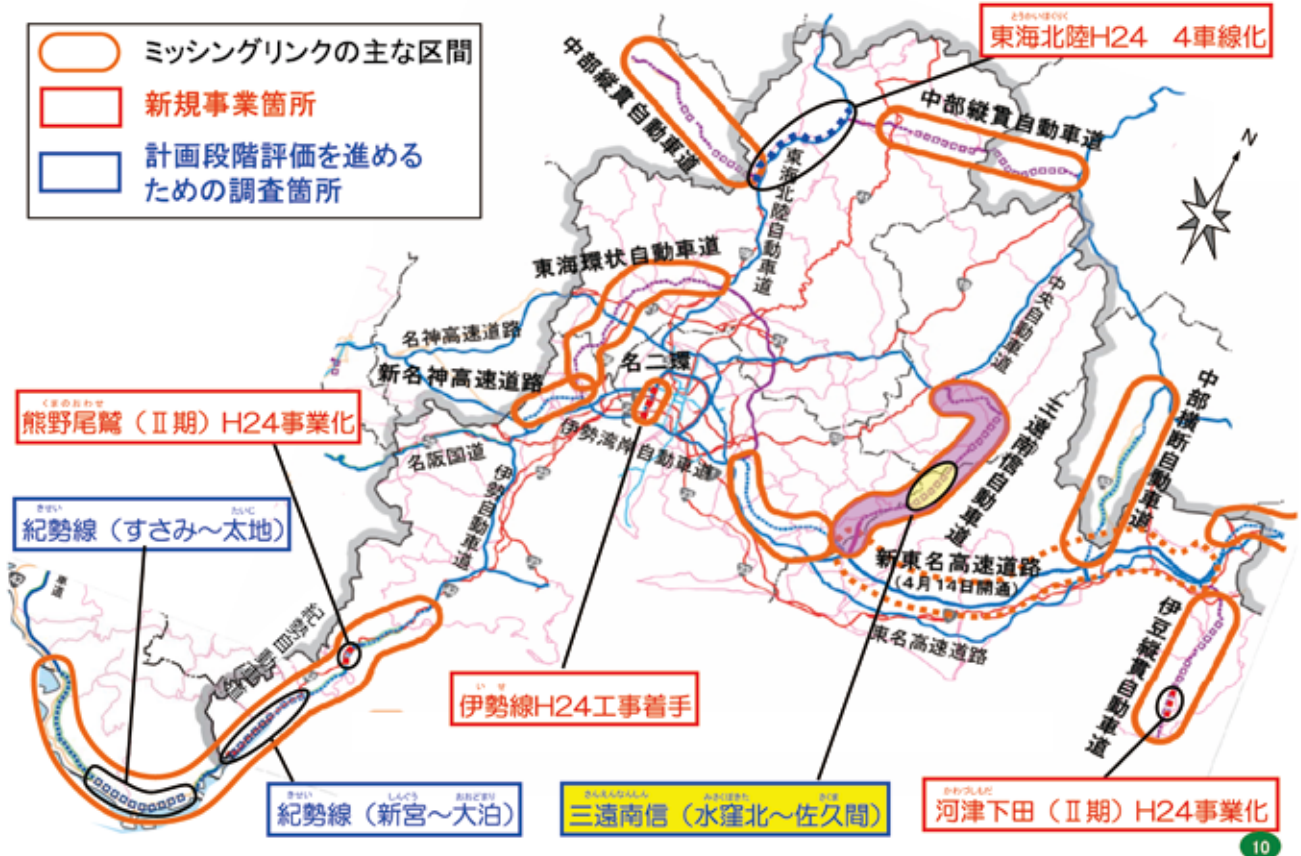
資材の搬入、製品の納品及び打合せ・出張において約30分の時間短縮が可能となり、業務の大幅な効率化が実現しました。顧客からジャストインタイムによる納品が求められていることから、定時性については特に重視しています。道路整備により輸送時間が短縮されただけでなく、輸送時間が読めることから、余裕時間を半減でき、荷崩れの心配が減ったことで梱包にかかる時間が削減されるなど、輸送の大幅な効率化が実現しました。



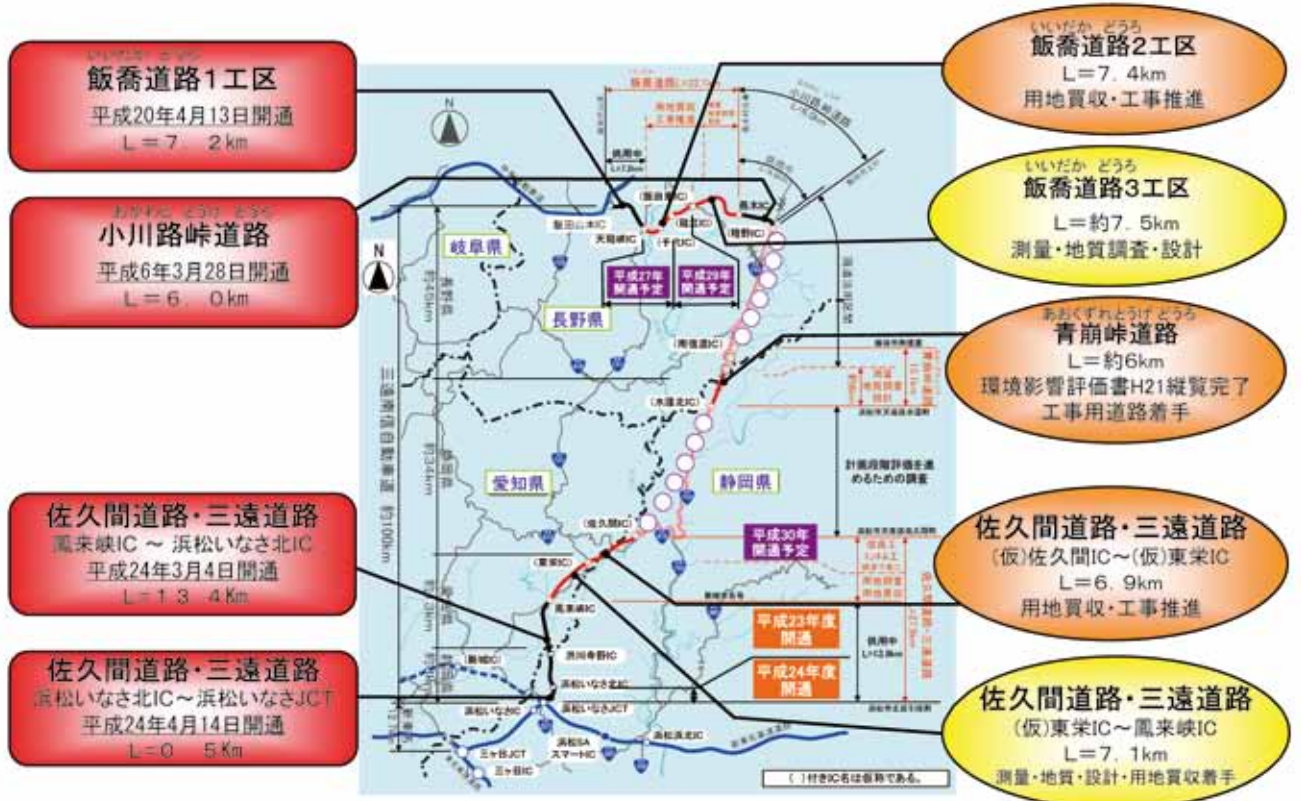
湖西方面への輸送時間（11トン車での輸送時）



9



三遠南信自動車道 全体の進捗状況



期待される整備効果 災害に強い道路機能の確保

- 浜松市と飯田市を結ぶ国道151号は周辺に迂回路がなく、災害等による通行止め発生時には大幅な迂回が必要となっている。
- 三遠南信自動車道の整備により、リダンダンシーが確保され、災害に強い道路ネットワークを構築。

■ 見名トンネル付近の法面崩落

- ★ 全面通行止め
平成24年3月6日から
平成24年4月27日まで
- ★ 昼間片側交互通行(夜間全面通行止め)
平成24年4月28日から
平成24年5月14日まで
- ★ 終日片側交互通行(当分の間)
平成24年5月15日から



■ 原田橋

- ★ 全面通行止め
平成24年4月24日から
平成24年6月24日まで
- ★ 条件付きでの供用開始
平成24年4月25日から
(車両総重量8トン以上通行止)



■ 太和金トンネル

- ★ 全面通行止め
平成23年8月21日から
平成24年2月17日(正午)まで
- ★ 全面開通
平成24年2月17日(正午)から



トンネル内部の崩落状況

高さ制限3.8m
トンネル内車線幅3.5m



損傷箇所(ケーブルの破断)

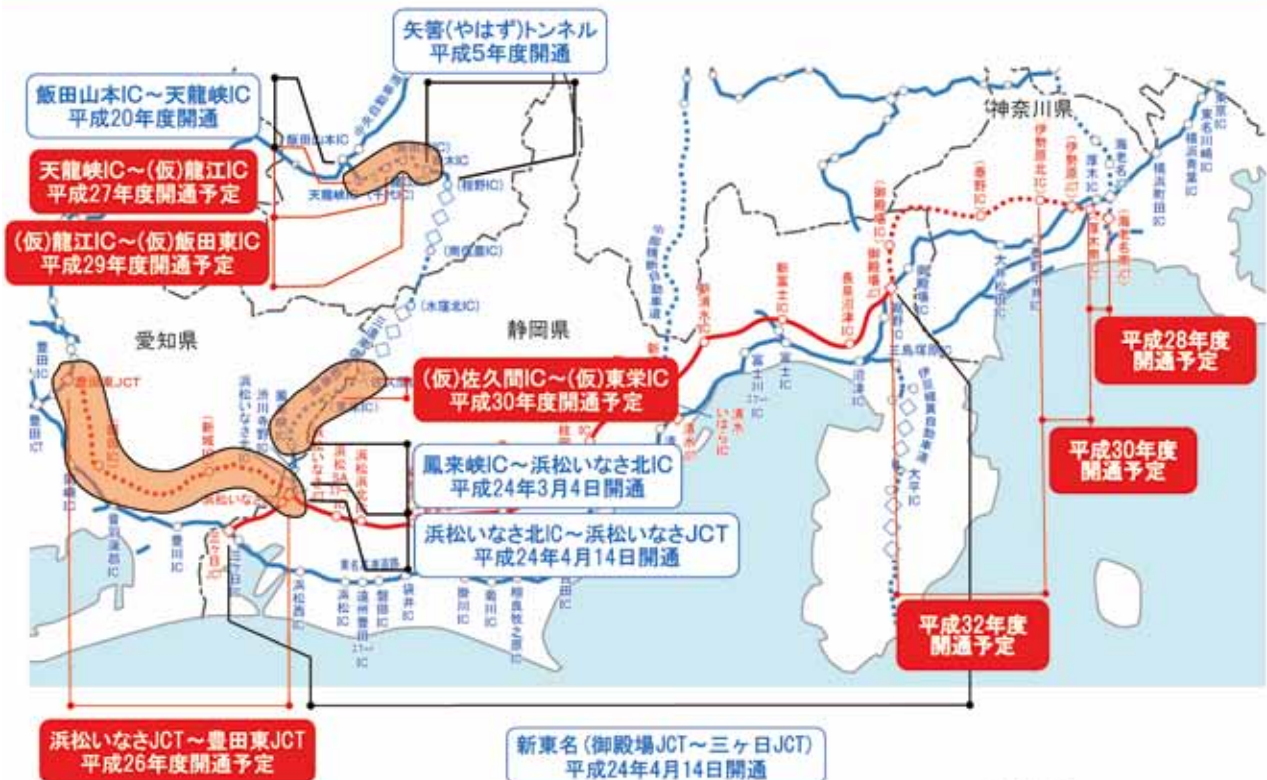


損傷箇所(破断箇所拡大)



12

今後の開通予定



()は仮称
※未完成のスマートIC名称は仮称

13

翔け「三河港」

愛知県三河港務所

豊川市

豊橋市

蒲郡市

三谷漁港

田原市

形原漁港

赤羽根漁港

沿岸市面積 667 km²

4市人口 708 千人

水域面積 132 km²

三河港の施設

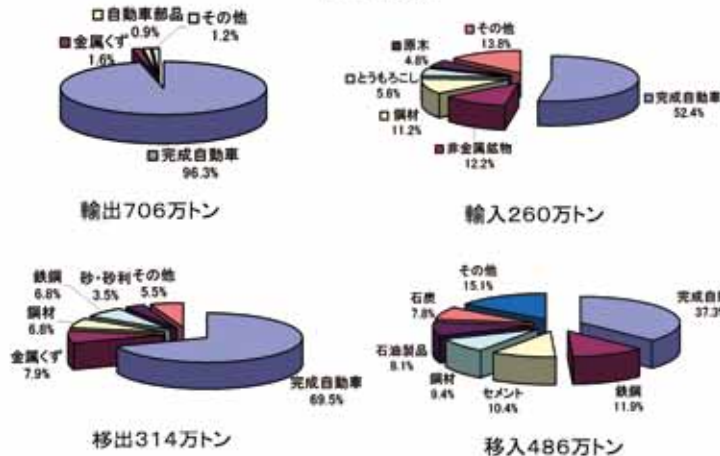


三河港の取扱貨物

- ・三河港の主要貨物は完成自動車で、全体の69%を占めています。臨海部のトヨタ田原工場や周辺地域では岡崎の三菱自動車、湖西のスズキ自動車の工場など世界有数の自動車産業が集積しており、輸出は台数・貿易額とも全国第3位、輸入は台数・貿易額とも全国第1位となっています。
- ・また、本港が位置する三河湾は、国定公園に指定され、豊かな自然環境に恵まれており、三河港内にも六条潟をはじめとする良好な干潟・浅瀬があります。

輸出入別取扱貨物量

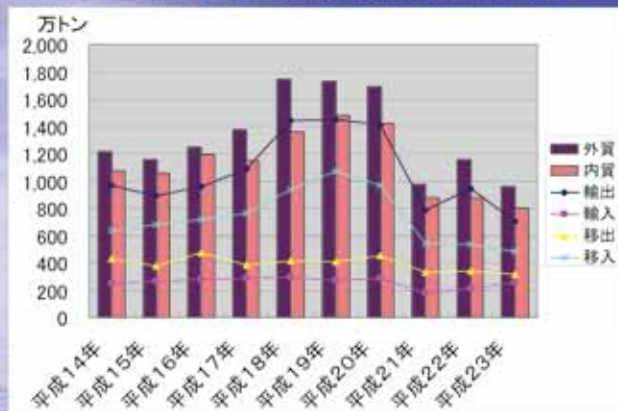
H23実績



三河港背後の自動車企業



三河港取扱貨物量推移



貿易額全国第14位

平成23年輸出入貿易額
 輸出価額 1兆1829億円
 輸入価額 4634億円
 合計 1兆6463億円

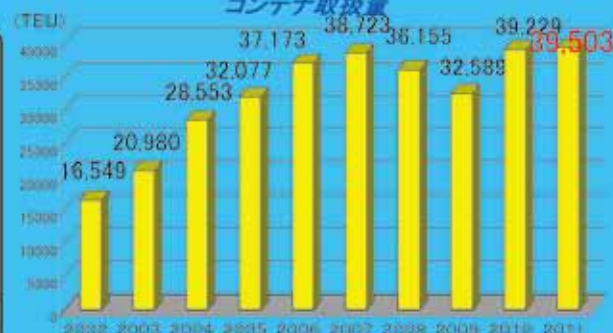
平成23年取扱貨物量

外貨 960万トン
 内貨 798万トン
 合計 1,758万トン

コンテナ航路



コンテナ取扱量



平成23年 コンテナ取扱量 約4万TEU

三河港の整備方針

1. 産業・物流の拠点となる港湾整備

- イ ロジスティクスの観点からの港づくり
- ロ 新エネルギーなど新産業企業の拠点となる港づくり

2. 港湾に係る環境の保全・再生

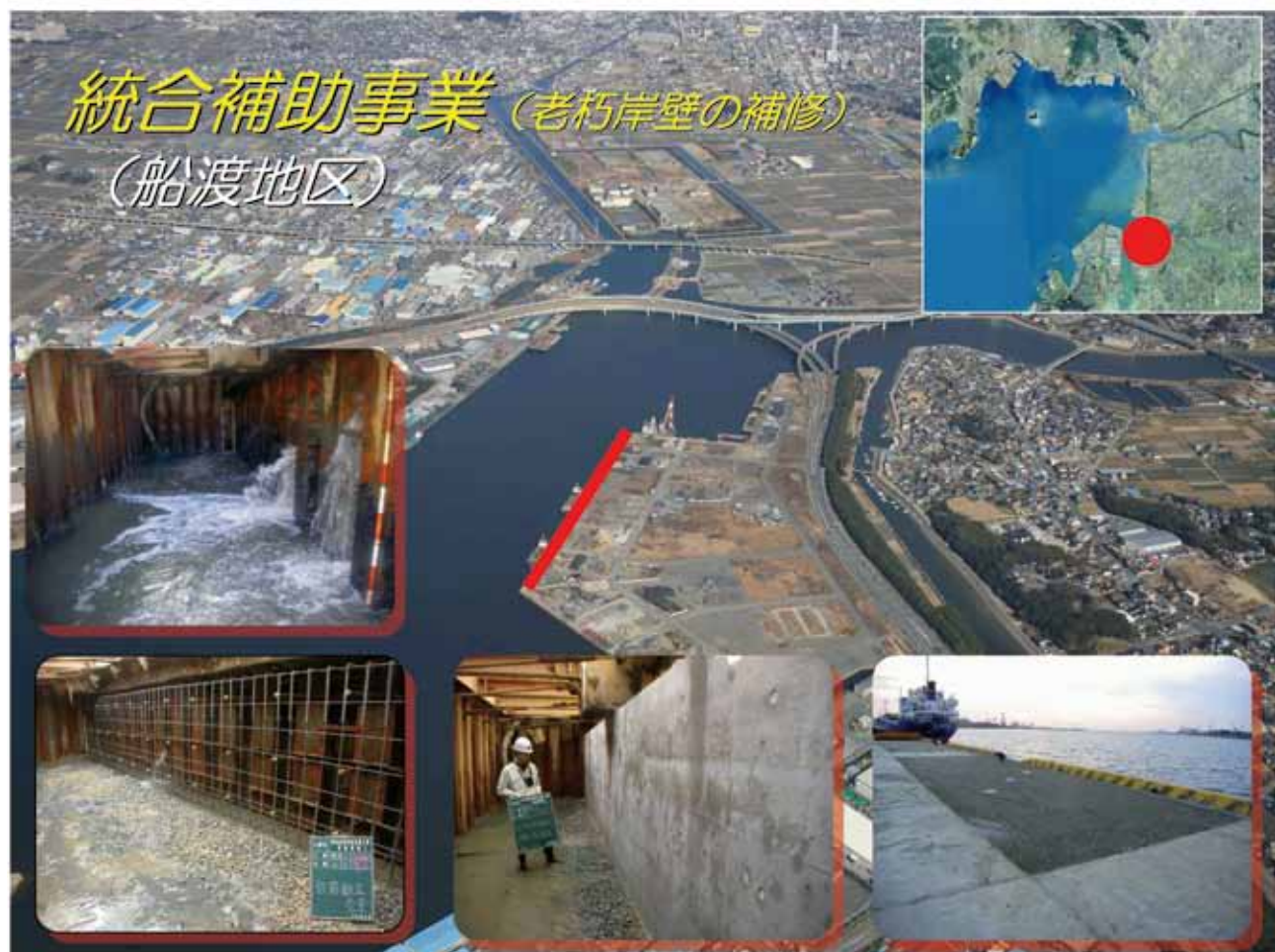
- イ 地域住民に親しまれる、水辺の環境を活かした港づくり

3. 安全安心で災害に強い港湾整備

- イ 大規模地震・津波・高潮に対応する港づくり
- ロ 港湾施設の良い維持管理

蒲郡地区（国際物流ターミナル整備事業）





海岸耐震対策緊急事業

(堤防の液状化対策)



背後地の保護

神野ふ頭

三河港 I C

L=1,215m

船渡ふ頭

愛知県沿岸部における津波・高潮対策検討について



	平成23年度	平成24年度	平成25年度
愛知県 防災局	愛知県防災会議 ○愛知県東海地震・東南海地震・南海地震等被害予測調査検討委員会 H23.9.15～	愛知県における東海・東南海・南海地震の地震動及び津波による被害予測調査	地震・津波被害予測結果の公表 (H25.6予定)
内閣府	中央防災会議 ○南海トラフ巨大地震モデル検討会 H23.8.28～	南海トラフ巨大地震モデルによる被害予測結果の公表	

外力レベル	津波・高潮ハザードマップマニュアル (H16.4)	中央防災会議 (東北地方太平洋沖地震を教訓とした地震・津波対策に関する専門調査会)	従来の技術基準等 (耐震設計)	従来の考え方 (設計高潮位)
レベル1	現実に実感できる発生頻度の外力	防護レベル	レベル1 (再現期間100年の期待地震動)	伊勢湾台風 台風期満潮位 + 既往最大偏差
レベル2	防護目標にかなう施設設計上の外力		レベル2 (再現期間1000年の期待地震動、あるいはプレート断層地震動)	
レベル3	最悪の浸水状況をもたらす外力	震災レベル		

本年度のポートセールス

(現状) 経済不安の影響で港湾貨物の低迷・臨海部立地企業の移転

(目的) 三河港背後圏の経済活動の維持・発展

(課題) 利用者の意見を反映させた効率的な施設整備と利用促進



背後地で港湾の利用者並び利用の可能性のある方々に
三河港への要望・意見を聞きながら情報交換

＝ポートセールス

H24年度

- ・企業訪問の継続実施
- ・三河港利用促進・競争力強化事業

荷主等の物流ニーズ

三河港に対しての要望(平成21、22年度ヒアリング)



三河港を取り巻く幹線道路の整備について ～物流基盤・ネットワークの強化～



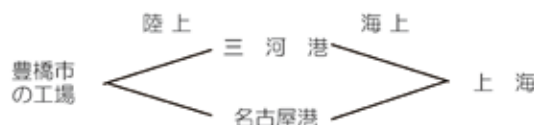
東西軸

新東名高速道路の開通
名豊道路の開通・4車線化

南北軸

三遠南信自動車道の開通
浜松三ヶ日・豊橋道路の早期整備

豊橋市の企業の20 ftコンテナ1個当たりの輸送コスト比較



※ 三河港務所作成

項目	港	三河港	名古屋港	差
① 輸送距離	陸	10.4	74.4	△ 87 km
	海	1,683	1,706	
② 輸送費用	陸	25,050	54,560	△ 29,510 円
	海	29,160	29,160	
③ 輸送時間	陸	0.4	2.7	△ 2.9 hr
	海	45.5	46.1	
④ 輸送時間費用	陸	613	4,293	△ 4,675 円
	海	72,778	73,773	
⑤ CO2排出量 kg-CO2	陸	32	232	△ 217 kg
	海	1,181	1,198	
⑥ CO2排出量 コスト額	陸	139	996	△ 927 円
	海	5,080	5,150	
総コスト		132,820	167,932	△ 35,112 円

三河港を使用すると20 ftコンテナ1個あたり縮減

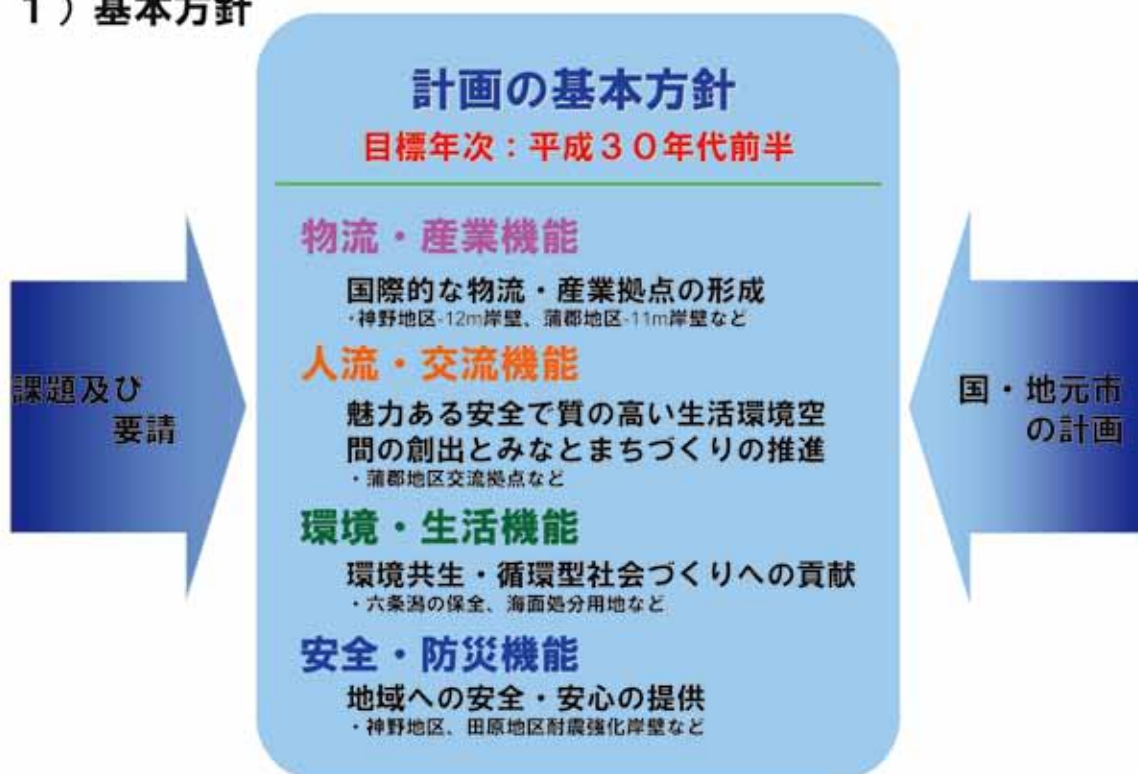
輸送コスト 34,185 円
輸送時間短縮 2.9 hr
CO2排出量 217 kg 削減
CO2排出量コスト 927 円
総コスト縮減額 35,112 円

※ この資料は、ある一定の条件で作成したものです。



三河港港湾計画改訂(第6次)

1) 基本方針



三河港港湾計画改訂(第6次)

2) 今回計画の主な内容



三河港の目標

重要港湾から国際拠点港湾への昇格に向けて

世界につながるゲートウェイと
ロジスティクスパークを目指す

三 河 港

政策の基本方針1：中部圏の中核となる地域基盤の形成

① 三遠南信自動車道の整備促進と三遠伊勢連絡道路(伊勢湾口道路)構想の実現

三遠南信 250 万流域都市圏の骨格を形成し、三遠南信地域を太平洋地域と日本海地域を結ぶ日本の中央回廊とするために、三遠南信自動車道の整備促進を働きかけるとともに三遠伊勢連絡道路(伊勢湾口道路)構想の実現に向けた取り組みを推進します。

【活動イメージ】

- ・ 三遠南信自動車道の高規格幹線道路としての全線にわたる早期整備を目指します。特に、(仮)青崩峠道路の早期開通を強く働きかけます。
- ・ 三遠伊勢連絡道路(伊勢湾口道路)構想の実現に向けて関係機関へ積極的に働きかけます。

【推進主体とその活動】

- ・ 自治体、商工会議所・商工会等が中心となって、国への要望などの活動を進めます。

② 三河港、御前崎港、中部国際空港、富士山静岡空港の整備と高速道路へのアクセス路の整備促進による国際ゲートウェイ機能の充実

国際的に競争力のある産業を有する三遠南信地域の国際ネットワークを保持・強化するために、三遠南信地域の国際ゲートウェイとして、三河港、御前崎港、中部国際空港、富士山静岡空港の整備、高速道路へのアクセス路の整備を促進することによって、世界に直結した(シームレス)ネットワークを形成します。

【活動イメージ】

- ・ 港湾、空港と高速道路が一体として機能できるように優先的整備を進めるため、国・県等の関係機関に働きかけるとともに、その積極的な利用に努めます。
- ・ 三河港は、世界的な自動車港湾としての機能を充実するとともに、コンテナ物流の機能を強化します。また、(仮)浜松三ヶ日・豊橋道路構想の実現など、高速道路へのアクセス強化、後背地と港湾を結ぶ国道 23 号バイパスの整備促進を働きかけます。
- ・ 御前崎港は、地域の物流拠点としての機能強化を図るとともに、国道 150 号や金谷御前崎連絡道路の整備を進めます。
- ・ 中部国際空港及び富士山静岡空港においては、就航本数や国内外定期便の増大など利便性の向上に向けた要望を行うとともに、交通アクセスの向上により地域の回遊性などを高め、観光客、航空貨物等の受け入れ態勢を整えます。

【推進主体とその活動】

- ・ 自治体、商工会議所・商工会等が中心となって国への要望などの活動を進めます。

③ リニア中央新幹線の早期実現と飯田駅設置

リニア中央新幹線が整備されることで、首都圏や近畿圏から三遠南信地域への北のゲートウェイとして飛躍的にアクセスが向上し、経済効果も期待されます。内陸部における発展を促進する新たな国土の大動脈として、安全・安心かつ大量高速輸送機関であるリニア中央新幹線の早期実現と飯田駅設置を促進します。

【活動イメージ】

- ・ リニア中央新幹線の早期実現に向けて、全国新幹線鉄道整備法の基本計画から整備計画への格上げを働きかけます。
- ・ 新しく策定される国土形成計画に、科学技術創造立国に相応しいリニア中央新幹線の整備を明確に位置づけるように働きかけます。
- ・ 関係機関と連携、協力し、建設促進の運動や要請活動、調査等を行うとともに、飯田駅実現に向けた運動に取り組みます。

【推進主体とその活動】

- ・ 自治体、商工会議所・商工会等が中心となって、国等への要望などの活動を進めます。

④ 豊橋・浜松環状道路を形成するネットワークの整備促進

浜名湖を境として豊橋、浜松に分割されている都市集積を一体化することで、東海道における150万人広域都市を形成し、三遠南信地域の発展を牽引する都市集積を高めます。このため、三遠都市帯において豊橋・浜松環状道路を形成するネットワークの整備を促進します。

【活動イメージ】

- ・ 東名高速道路、国道1号・23号バイパス、国道151号、国道152号バイパス、(仮)浜松三ヶ日・豊橋道路を結び合わせることで、豊橋・浜松環状道路を形成するネットワークの整備を促進します。
- ・ 東名高速道路部分については、第二東名高速道路に長距離交通が転換すると考えられ、スマートインターなどを活用して、利用を促進します。
- ・ 豊橋・浜松環状道路を取り巻く地域に対して、県境を越えた広域的な視点（広域調整）により都市構造やインフラなどの資本ストックを有機的に結び付けた基盤整備を進めます。特に広域都市の中心部に位置し、交流や居住など多様な可能性を有する浜名湖ゾーンの活用を図ります。

【推進主体とその活動】

- ・ 自治体、商工会議所・商工会等が中心となって、整備方針を検討します。

⑤ 県境を越えるマスコミの連携

三遠南信地域のマスコミ機能は、必ずしも一体化されておらず、生活情報等が分断される傾向にあります。住民や企業が県境を越える情報の共有化を進め、交流や企業連携を促進するために、県境を越えるマスコミの連携を促進します。

【活動イメージ】

- ・ 三遠南信地域内の情報連携の基盤として、各マスコミの連携に向けた意見交換を促進します。
- ・ 県境近接地域での、医療情報等の生活情報の連携を働きかけます。
- ・ 「三遠南信版」の紙面確保や共同ポータルサイトの可能性検討、情報交換を働きかけます。
- ・ 県境を越えるCATVの番組流通や、県境隣接地域での他県の民間テレビ電波の受信の緩和を働きかけます。

【推進主体とその活動】

- ・ マスコミ各社と、自治体、商工会議所・商工会、市民団体などと意見交換を行い、連携活動を検討します。